



令和7年度 社会連携報告書

CONTENTS

◇産学官連携

P1. TOKYU MUSIC PROGRAM 第8回地域ファミリーコンサート

◇学びの機会提供

P2. アジア研究所公開講座

P3. 春学期公開授業

P4. 第5回亜細亜大学高校生アジアフォトコンテスト

P5. セミナー「アジア・ウォッチャー」

P6. 秋学期公開授業

◇地域との交流

P7. ファミリースポーツフェア 2025

P8. 第16回武蔵境ピクニック

P9. 令和7年度小金井市公民館緑分館 文化活動事業「音楽鑑賞のつどい」

亜細亜大学吹奏楽団「Spring Mini Concert in 緑分館」

P10. キッズ・カーニバル KOGANEI 2025

P11. 第55回関東地区グラウンドソフトボール大会（東京大会）兼

第24回全国障害者スポーツ大会グラウンドソフトボール競技関東地区予選会

P12. 第13回西部コミセンまつり

P13. 夏休み学習教室

P14. 夏キャンプ

P15. ヒガコ・サマーフェスティバル

- P16. 令和7年度ひので町民大学総合講座
- P17. 桜堤コミセン 夏まつり
- P18. 武蔵野交通安全のつどい
- P19. 新こがねい駅前縁日
- P20. 第34回三鷹国際交流フェスティバル
- P21. 職場体験学習の受け入れ
- P22. 第43回東久留米市市民みんなのまつり
- P23. 令和7年度 第13回ふじみまつり
- P24. 西東京市地域子ども会「杉の子会」2025年度冬キャンプ
- P25. 令和7年度一中フェスタ
- P26. 第41回芸能文化祭芸能発表

◇高校との連携

- P27. 「IWAKURA SP 2026」
- P28. 令和7年度高大連携校との教育連携の実施

◇大学間の連携

- P29. 東京都市大学との合同仕事体験企画

◇卒業生との連携

- P30. ビジネスネットワークの集い

TOKYU MUSIC PROGRAM

第8回地域ファミリーコンサート



活動の概要

- 連携先
多摩東急会
- 活動期間
2026年2月8日(日)
- 活動場所
亜細亜大学武蔵野キャンパス
- 参加団体
バーチャリーバ・ソサエティ、
亜細亜大学吹奏楽団、多摩東急会

(目的)

日ごろから音楽を楽しんでいる方はもちろん、老若男女問わず、吹奏楽にあまり親しんだことがない方々にも、亜細亜大学講堂という身近な場所で、また無料で、吹奏楽の音色を楽しんでいただける機会を提供し、地域連携を図るため。

(活動内容・成果)

本学吹奏楽団 OB・OG をメインに組織された「バーチャリーバ・ソサエティ」と、本学現役吹奏楽団によるコンサートを開催した。開場間際まで雪が降り、学内は真っ白という悪天候の中での開催だったが、900名弱の方が来場し、盛況なコンサートとなった。毎年楽しみにしている、ありがとう、と、お子様連れからご年配の方まで、多くの方から感謝の言葉をかけていただき、貢献度の高いイベントであることを改めて感じた。次回も地域の方々をはじめ、来場者の皆さまにより楽しんでいただけるよう、東急会、演奏者の方々と関係を強化し実施していきたい。



(今後の課題・目標)

課題となっていた講堂内の席案内やお手洗いの案内について、関係各位と連携して対策を検討・実施し、大幅な改善につなげることができた。今後もお客様の動線を意識し、不便のない運営を継続していきたい。

アジア研究所公開講座



※写真は第3回開催時のもの

活動の概要

- 主催
アジア研究所
- 開催日
令和7年5月17日～6月7日
(全4回・毎週土曜日)
- 開催形式
全てハイブリッド開催
- 参加者(一般公開)
学生・教職員、研究者、地域市民

(目的)

令和7年度は「急変する韓国情勢」を共通テーマとして開催。2024年末の戒厳令発令、年明けのトランプ米政権の再登場などを背景に、急変する韓国情勢を国内政治、南北関係、日韓関係、米中との経済関係を切り口に分析・展望した。

(活動内容・成果)

◎第1回

「45年ぶりの戒厳令、韓国政治の両極化とその背景」

講師：牧野 愛博(朝日新聞外交専門記者)

◎第2回

「トランプ政権下の朝鮮半島の安全保障」

講師：倉田 秀也(防衛大学校)

◎第3回

「尹錫悦政権の<不在>と日韓関係」

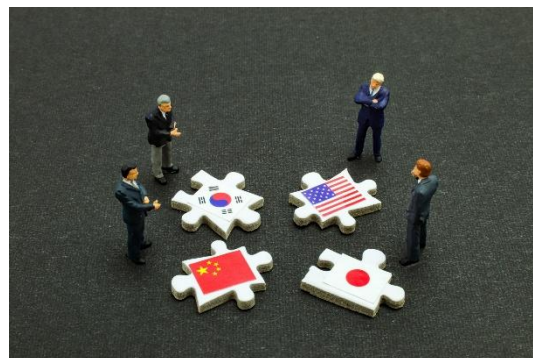
講師：奥田 聡(本学アジア研究所)

◎第4回

「困難に直面する韓国の中・対米経済ビジネス関係」

講師：百本 和弘(ジェトロ)

以上4つのテーマで講演を行い、国内外から計444人が聴講した。



(今後の課題・目標)

前年度から聴講者を約100人増やし、講演内容について様々なニーズや感想が聞かれるようになった。講師に研究者だけでなく、ジャーナリストを招聘しデータや数字に加え、リアルな現場の声や見通しを解説する講座にする。

春学期公開授業



ホスピタリティマネジメント特別講義

活動の概要

● 経営学部

ホスピタリティマネジメント特別講義

期間 令和7年4月17日(木)～令和7年7月17日(木)

時限 木曜日4時限目(15時15分～17時00分)

(目的)

本学が地域や社会に開かれた大学として、多くの人々に「学びの機会」を提供するため。

(活動内容・成果)

- ホスピタリティマネジメント特別講義
担当教員:横川 潤 教授(本学経営学部ホスピタリティ・マネジメント学科) 那須 一貴 教授(本学経営学部ホスピタリティ・マネジメント学科)



ホスピタリティマネジメント特別講義

(今後の課題・目標)

令和8年度も引き続き学びの機会を提供する。

第5回亜細亜大学高校生アジアフォトコンテスト



活動の概要

- 応募対象
日本国内に在住の高校生
- 作品募集期間
令和7年7月7日～9月21日
- 受賞作品発表
令和7年11月1日
- 応募作品数
54作品（52名）

(目的)

高校生を対象に、アジア地域の文化や習慣を身近で発見してもらう企画として写真コンテストを実施。

(活動内容・成果)

第5回となる今回は、新たに「ミライのアジア」をテーマとして開催した。昨年度に引き続き本学卒業生でプロフォトグラファーである須田卓馬氏を特別審査員に迎え、54作品から厳正な審査を経て、最優秀賞（右写真）1名、優秀賞2名、特別審査員賞1名、亜大賞10名を選出した。

前回から応募数は減少したものの、これまで参加の無かった高校からの応募が多数あった。



(今後の課題・目標)

アジアへの関心を高める機会として、より応募しやすいテーマの設定を検討すると共に、広報媒体などを見直し、応募者層の拡充を図ることを検討する。

セミナー「アジア・ウォッチャー」



※写真は第2回対面開催時のもの

活動の概要

- 主催
アジア研究所
- 開催日
令和7年10月25日、12月7日、
令和8年1月24日（年3回）
- 開催場所
亜細亜大学武蔵野キャンパス、
オンライン
- 参加者（一般公開）
学生・教職員、研究者、地域市民

（目的）

アジアの社会、言語、文化、政治・経済の変化や社会情勢などからタイムリーな話題で講演会を開催し、研究者・地域市民のアジア諸国に対する理解を深め、関心を促す。

（活動内容・成果）

- ◎第1回 [ハイブリッド開催]
「深化する台湾アイデンティティと硬直化する中国共産党イデオロギー」
講師：塩澤 英一（共同通信論説委員）
 - ◎第2回 [対面開催]
「東南アジアの国民国家を問い直す」
講師：片岡 樹（京都大学）、池田 一人（大阪大学）、大泉啓一郎（本学）、左右田直規（東京外国語大学）、佐々木拓雄（久留米大学）
 - ◎第3回 [ハイブリッド開催]
「インドネシア民主化の27年とは何だったのか：プラボウォ政権が目指すもの」
講師：松井 和久（松井グローバル合同会社代表）
- 以上3つのテーマで講演を行い、計310人が聴講した。



（今後の課題・目標）

本セミナーはアジア諸国のタイムリーな話題を掲げ、幅広い層から関心が寄せられている。ハイブリッド形式で実施するなど、多くの方の期待に沿う実施体制を模索する。

秋学期公開授業



トップマネジメント特別講義

活動の概要

●経営学部

トップマネジメント特別講義

期間 令和7年10月9日(木)～令和8年1月15日(木)
時限 木曜日3時限目(13時15分～15時00分)

ホスピタリティビジネス特講(京王プラザホテル 寄付講座)

期間 令和7年10月8日(水)～令和8年1月14日(水)
時限 水曜日3時限目(13時15分～15時00分)

●国際関係学部

インターナショナル・フォーラム

期間 令和7年10月6日(月)～令和8年1月19日(月)
時限 月曜日4時限目(15時15分～17時00分)

●全学共通科目

武蔵野市寄付講座「現代教養特講」

期間 令和7年10月6日(月)～令和8年1月19日(月)

(目的)

本学が地域や社会に開かれた大学として、多くの人々に「学びの機会」を提供するため。

(活動内容・成果)

●トップマネジメント特別講義

担当教員:石塚 隆男 准教授(本学経営学部)
西原 彰宏 准教授(本学経営学部)

●ホスピタリティビジネス特講

(京王プラザホテル 寄付講座)

担当教員:小川 悦史 准教授(本学経営学部)

●インターナショナル・フォーラム

担当教員:金 炯中 教授(本学国際関係学部)
増原 綾子 教授(本学国際関係学部)

●武蔵野市寄付講座「現代教養特講」

コーディネーター: 茨木 秀行 教授(本学経済学部)



武蔵野市寄附講座「現代教養特講」

(今後の課題・目標)

令和8年度も引き続き学びの機会を提供する。

ファミリースポーツフェア 2025



活動の概要

- 連携先
武蔵野市教育委員会 生涯学習スポーツ課
- 活動期間
令和7年4月27日（日）
- 活動場所
武蔵野総合体育館・武蔵野陸上競技場
- 参加団体
亜細亜大学ボランティアセンター

(目的)

だれでも自由に参加しレクリエーションスポーツやユニバーサルスポーツを体験することができる。

(活動内容・成果)

- ・各種目の運営補助（設営・撤収）
- ・会場内誘導

年齢や障害の有無に関わらず、色々な方と接することができ、今後の活動に役立てることができる。



(今後の課題・目標)

地域の子ども連れの家族の方が多く、温かい雰囲気でのやりがいのあるボランティアができた。

様々な方と接することができた経験を、今後の他のボランティア活動にも活かしていきたい。

第 16 回武蔵境ピクニック



活動の概要

● 連携先

武蔵境ピクニック実行委員会

● 活動期間

令和7年5月17日（土）

● 活動場所

境南ふれあい広場公園

亜細亜大学体育館前広場（スタンプラリー）

● イベント参加人数

8名

● 参加団体

亜細亜大学ボランティアセンター、

新入生研修委員会、演劇研究会劇団『つた』

（目的）

武蔵境駅周辺地域の商店街や市民団体、大学等が協力し、市民交流や商業振興等を進め地域の活性化を図る。

（活動内容・成果）

- ・ イベント会場での舞台補助、運営、設営
- ・ スタンプラリーチェックポイントでのスタンプ対応

イベントを通して、多くの地域の方々と関わったことや、みなさんの楽しそうな表情をみることができ、ボランティアに参加してとても良かった。

今後の活動に活かすことができる、多くの知見を得ることができた。



（今後の課題・目標）

常に先を見据えて行動することの重要性を実感した。臨機応変に周りを見て行動できるようにしていきたい。

小金井市・亜細亜大学 包括的協働・連携協定

令和7年度 小金井市公民館緑分館 文化活動事業「音楽鑑賞のつどい」

亜細亜大学吹奏楽団「Spring Mini Concert in 緑分館」



活動の概要

- 連携先
小金井市・小金井市公民館緑分館
- 活動期間
令和7年5月18日（日）
- 活動場所
小金井市公民館（緑分館）
- イベント参加人数
120名
- 参加団体
亜細亜大学吹奏楽団

(目的)

小金井市と亜細亜大学が締結している「包括的協働・連携協定」を基に、文化活動を通して、小金井市内にお住いの皆様と地域交流を更に深める場にする。

(活動内容・成果)

第1部は「クラシックステージ」と題し、普段「吹奏楽」に馴染みのない皆様にもお楽しみいただけるように、団員による「楽器紹介コーナー」や、ご来場いただいた皆様から立候補していただく「指揮者体験コーナー」などを実施しました。第2部では「ポップスステージ」と題し、歌謡曲「津軽海峡・冬景色」や、最新の流行J-Popメドレーなど、世代を超えて楽しめるプログラムを演奏しました。全公演で120名の小金井市民の皆様にご来場をいただきました。



(今後の課題・目標)

今回のミニコンサート開催で終わらずに、今後も大学と地域の交流を活発的に行える場所を企画して実施していきたい。

キッズ・カーニバル KOGANEI 2025



活動の概要

- 連携先
キッズ・カーニバル KOGANEI 実行委員会
- 活動期間
令和7年6月7日(土)～8日(日)
- 活動場所
宮地楽器ホール、フェスティバルコート
- イベント参加人数
4人
- 参加団体
亜細亜大学ボランティアセンター

(目的)

小金井市内の子どもや子育てに関わる大人たち様々な団体や個人が集まり、みんなで意見を出し合いながら、自分たちの街を作っていく。

(活動内容・成果)

- ・会場装飾、会場整理、来場者受付、景品担当、ステージ出演者誘導、ステージ音響、子供企画のアシスト
- ・子供達と触れ合うことで、子供への対応の仕方を学ぶことができた。



(今後の課題・目標)

自分から主体的に行動することが必要だと感じたので、行動力をより上げていくことを目標にしたい。

第55回関東地区グランドソフトバレーボール大会（東京大会） 兼
第24回全国障害者スポーツ大会グランドソフトボール競技関東地区予選会



活動の概要

- 連携先
公益社団法人東京都盲人福祉協会
- 活動期間
令和7年6月7日（土）～8日（日）
- 活動場所
都立武蔵野中央公園スポーツ広場
- イベント参加人数
5人
- 参加団体
亜細亜大学ボランティアセンター

（目的）

第24回全国障害者スポーツ大会のグランドソフトボール競技関東ブロック代表を選出する。

（活動内容・成果）

- ・ 物品の運搬、試合中のアナウンス、ボール拾い、得点版の記入、弁当配布
- ・ 障害など関係なく生きていくことを知ることができた。



（今後の課題・目標）

転がってきたボールを弱視のキャッチャーに渡す時に、声出ししたり、ワンバンドで渡したり、配慮が必要だと思った。

第13回西部コミセンまつり



活動の概要

- 連携先
西部コミュニティ協議会
- 活動期間
令和7年7月13日（日）
- 活動場所
西部コミュニティセンター
- イベント参加人数
15人
- 参加団体
亜細亜大学ボランティアセンター

(目的)

西部コミュニティセンターを拠点に、ワークショップを体験してもらう等、地域の方々とのつながりを作っていく。

(活動内容・成果)

- ・模擬店、ワークショップ、案内誘導、駐輪場整理
- ・参加された子供達以外にも、ボランティアの中高生とも話す機会があり、様々な知識を得ることができた。



(今後の課題・目標)

- ・運営の難しさを実感した。地域の方々ともっともっと色々な話ができるように取り組んでいきたい。

夏休み学習教室



活動の概要

- 連携先
西東京市立田無第一中学校
- 活動期間
令和7年7月23日(水)、24日(木)
- 活動場所
西東京市立田無第一中学校
- イベント参加人数
教職課程履修者1人

(目的)

夏休みの宿題への取り組みに困っている生徒や学習環境を必要としている生徒等への学習をサポートする。

(活動内容・成果)

- ・夏休み学習教室、学修補助
- ・問題に躓いている生徒に対し、必要となる事前知識を確認し、わかりやすく説明をすることができるようになった。



(今後の課題・目標)

- ・より分かりやすく説明できるようにするために、自分自身が知識を深めていく必要性を感じた。

夏キャンプ



(目的)

小中学生を対象とした、自然体験活動

活動の概要

- 連携先
杉の子会
- 活動期間
令和7年8月2日(土)～4日(月)
- 活動場所
山梨県丹波山村東キャンプ場
- イベント参加人数
亜細亜大学ボランティアセンター4人

(活動内容・成果)

・小中学生の引率補助、キャンプ内プログラムの補助

・非日常体験(山登り・自然体験・野外炊飯など)を通じて、協調性・挑戦意欲・自立性を育む機会を提供することができた。



(今後の課題・目標)

課題：団体活動を通じて、周囲との協力や交流を深められるようにしていく。

目標：自然とのふれあい、環境への理解・関心を持ってもらえるようにする。

ヒガコ・サマーフェスティバル



活動の概要

- 連携先
東小金井南口商店会
- 活動期間
令和7年8月8日（金）、9日（土）
17:30～21:30
- 活動場所
日本歯科大学 第1グラウンド
- 参加団体
亜細亜大学ボランティアセンター
(2日間計：延べ49名)

(目的)

地域観光まちおこしのイベントを円滑に行うことができるようサポートする。

(活動内容・成果)

- ・ 来場者の自転車整理
- ・ 来場者の誘導
- ・ ごみの分別
- ・ 出店での商品販売

様々な年齢層の方と関わることができ、周囲とのコミュニケーションを活用して連携することの大切さを知ることができた。



(今後の課題・目標)

課題：

- 相手に聞きやすい声で伝える。
- ゴミの分別を工夫しわかりやすくする。

目標：

自分の仕事だけでなく、他のことにも注意を向けられるようにする。

令和7年度 ひので町民大学 総合講座



活動の概要

- 連携先： 日の出町文化スポーツ課
 - 活動期間
2025年8月21日、28日、9月3日
 - 活動場所：日の出町役場
 - 参加教員
- ①伊藤 匡美 教授（経営学部）
 - ②田中 謙一 教授（法学部）
 - ③サイトウ・アキヒロ 教授（社会学部）

(目的)

日の出町が生涯学習事業として実施する「ひので町民大学」において、包括連携を活用し本学教員を講師として派遣、日の出町とのより一層の連携強化や、生涯学習の一層の充実、地域社会への還元を図る。

(活動内容・成果)

3学部の教員それぞれが、自身の研究分野に沿った内容にて講義を展開した。

- ① 食による地域活性化のマーケティング
—ジビエに力を入れる地域がなぜ多いのか—
- ② 閻魔王の法律学
- ③ 任天堂のゲームのチカラであなたの住む社会を豊かにする

講義内容について、毎回テイストの異なる内容で豊富な知識を学ぶことができたことと受講生から大変好評であった。各回終了後には活発な質疑応答が交わされ、関心の高さがうかがえた。



(今後の課題・目標)

今後も町民の方々の知的好奇心を広げる一助となるよう、また、本学での学びの“面白さ”を知っていただく機会となるよう、町と一層連携を深め、より多くの方に受講いただけるように努めたい。

桜堤コミセン 夏まつり



活動の概要

- 連携先
桜堤コミュニティ協議会
- 活動期間
令和7年8月23日（土）
- 活動場所
桜堤コミセン・上水北公園
- 参加団体
亜細亜大学ボランティアセンター
(7名)

(イベント開催目的)

たくさんのイベントを企画し、地域の子供たちに楽しんでもらう。

(活動内容・成果)

- ・ 模擬店販売、駐輪場案内、会場内見廻り
- ・ 夏祭りを運営する側に参加することで、自身の知見が広がった。



(今後の課題・目標)

課題：

- ・ 片付け等、効率的に取り組む。

目標：

- ・ より効率的に時間を使えるようにする。

武蔵野交通安全のつどい



活動の概要

- 連 携 先
警視庁武蔵野警察署
- 活動期間
令和7年8月30日(土)
- 活動場所
武蔵野公会堂
- 参加団体
亜細亜大学ボランティアセンター
(5名)

(イベント開催目的)

市民の方々に正しい交通ルールや交通マナーを習慣付けていただき、市内の交通事故防止の徹底を図る。

(活動内容・成果)

- ・ 子供用の警察官制服体験補助、ミニゲーム体験補助、来客者誘導整理
- ・ 人手が不足しているときに、自分が何をすべきかを考えて行動することができた。

(今後の課題・目標)

課題：自主的にコミュニケーションを取れるようにする。

目標：率先して子供や地域の方々とコミュニケーションをとることができるようにする。

新こがねい駅前縁日



活動の概要

- 連携先
新小金井商店会
- 活動期間
令和7年9月20日（土）
- 活動場所
新小金井駅ロータリー
- 参加団体
亜細亜大学ボランティアセンター
(2名)

(イベント開催目的)

地元駅前での縁日にきてもらい、多くの方に楽しんでもらいたい。

(活動内容・成果)

- ・ 売店補助、警備補助
- ・ 同じところを担当していた方と協力し、円滑に進められるよう話し合うことができた。



(今後の課題・目標)

課題：

・もう少し自分の考えを発言できるようにしていく。

目標：

・些細なところでも物事を考えることができるようにする。

第34回 三鷹国際交流フェスティバル



(イベント開催目的)

「手をつなごう、世界はひとつ」をテーマに、多くの市民の方に世界の踊りや音楽ステージ、世界各国の食品や雑貨が集まるワールドバザール、キッズ向けの体験型アトラクション等による、国際交流の機会を提供し、1日で世界の雰囲気を感じてもらう。

(活動内容・成果)

- ・キッズゾーン（子ども向けアトラクション）等の運営協力
- ・交流を通じて、来場者・出展者・地域住民・学生が「他文化に触れる」体験の場を得ることができた。



(今後の課題・目標)

子どもたちが安全に活動できるように目を配り、怪我なく、楽しい思い出が作れるようにしていく。

職場体験学習受け入れ

(東京都立富士高等学校附属中学校)



活動の概要

- 連携先
東京都立富士高等学校附属中学校
- 活動期間
2025年10月7日(火)～9日(木)
- 活動場所
亜細亜大学 武蔵野キャンパス
- 体験受け入れ者数
4名

(目的)

中学生が職場体験を通して、働くことの意義や社会の仕組みを理解し、社会性や責任感を養うとともに、自身の適性や将来の進路について考える力を育成することを目的とする。

(活動内容・成果)

【受け入れ部署】

- ・ 10月7日(火)
学生部 学生センター、キャリアセンター
- ・ 10月8日(水)
教務部 メディアセンター (図書館)
国際連携部 インターナショナルセンター
- ・ 10月9日(木)
企画部 広報課



(今後の課題・目標)

(参加した生徒からの感想)

- ・ 挨拶の大切さを知ることができた
- ・ 仕事への責任を感じる事ができた
- ・ 今回の学びを将来の仕事に活かしたい

第43回東久留米市市民みんなのまつり



活動の概要

- 連携先
東久留米市 市民部 産業政策課
- 活動期間
2025年11月15日(土)
- 活動場所
東久留米市役所、市民ひろば、
まろにえ富士見通り、駅西口ロータリー 他
- イベント参加人数
5名
- 参加団体
亜細亜大学ボランティアセンター

(目的)

市役所前、駅西口を使ったステージアトラクション、公園等で地場産の農産物の即売会、駅前通りの歩道沿いに商業者によるブースの出店を実施すること

(活動内容・成果)

(活動内容)

- ・西口ステージの案内、誘導
- ・本部でパンフレット配り、お花配り、道案内
- ・ステージ補助など雑務

(成果)

- ・東久留米市役所の方々と交流し、業務内容についても知ることができた。
- ・大人の方々や、経営者の方々と関わることで、自分の知見が広がった。



(今後の課題・目標)

- ・より多くの地域の方と積極的に交流していきたい。
- ・自発的に仕事を見つけて行けるようになりたい。

令和7年度 第13回ふじみまつり



活動の概要

- 連携先
ふじみ衛生組合
- 活動期間
2025年11月16日（日）
- 活動場所
クリーンプラザふじみ
- イベント参加人数
約40名
- 参加団体
亜細亜大学ボランティアセンター

(目的)

三鷹市と調布市のごみ処理を行う施設で、地域住民との交流を深めるため、年に1回、ふじみまつりを開催している。

(活動内容・成果)

(活動内容)

- ・司会進行
- ・駐輪場、交通整理
- ・アトラクションでの子どもとのふれあい

(成果)

- ・少しでもイベントをより良いものにするために一丸となって運営できたことがとてもいい経験になった。
- ・老若男女様々な人とのコミュニケーションを通じ、年齢に合わせ会話のテンポを変えることが重要だと改めて気づくことができた。



(今後の課題・目標)

- ・多くのボランティアに参加し、様々な角度から地域を支えられるようになりたい。
- ・子供への対応に少し戸惑ってしまう時があったので、笑顔で優しく話しかけることを心がけたい。

西東京市地域子ども会「杉の子会」 2025年度冬キャンプ



活動の概要

- 連携先
西東京市地域子ども会「杉の子会」
- 活動期間
2026年2月21日(土)～23日(月・祝)
- 活動場所
国立妙高青少年自然の家・赤倉スキー場
- イベント参加人数
11名
- 参加団体
亜細亜大学 ボランティアセンター

(目的)

小中学生が参加する新潟県妙高市での2泊3日の冬キャンプに同行し、グループリーダーとして小中学生の引率、生活サポート等を行う。

(活動内容・成果)

【内容】

- ・メンバーの安全管理
- ・移動・食事・入浴の引率
- ・スキー活動の見守り

【成果】

- ・子供たちのことを思い行動する力がついた。
- ・他のリーダーと連携して行動する力が身についた。
- ・責任感を持ち先のことを考えて行動することの大切さを学べた。



(今後の課題・目標)

【課題】

- ・自分自身の行動もてきぱきと動くこと。
- ・今後は周囲をより広く見て小さな変化に早く気づけるようになりたい。

【目標】

- ・より多くの子どもたちと接すること。
- ・ケジメをつけて行動すること。
- ・杉の子会の対応力をサークルでも活かしたい。

令和7年度一中フェスタ



活動の概要

- 連携先
武蔵野市青少協第一地区委員会
- 活動期間
令和8年3月7日（土）
- 活動場所
武蔵野市立第一中学校
- イベント参加人数
19名
- 参加団体
セパタクロー部

(目的)

本事業は、武蔵野市立第一中学校の生徒がスポーツ・音楽・工作等の文化体験を通じて地域住民と交流するイベント。社会貢献及びセパタクローの振興を目的とし、競技の紹介や体験会を実施した。

(活動内容・成果)

- ・セパタクロー部員によるデモンストレーションを披露。
- ・体験会でセパタクローの基本である「リフティング」「アタック」「サーブ」などに取り組み、最後にはゲーム形式でのプレーも体験した。



(今後の課題・目標)

- ・今後も、社会連携活動に積極的に参画し、セパタクローの競技普及とスポーツを通じた社会貢献に尽力してまいります。

第41回芸能文化祭芸能発表



活動の概要

- 連携先
武蔵野市老人クラブ連合会
- 活動期間
2026年3月20日(金)
- 活動場所
武蔵野市民文化会館
- イベント参加人数
3名
- 参加団体
亜細亜大学ボランティアセンター

(目的)

老人クラブ連合会に加入している老人クラブ会員が、カラオケ・コーラス・踊り等を発表する際の出演誘導及び観客誘導

(活動内容・成果)

【活動内容】

- ・出演者の楽屋への案内誘導
- ・楽屋から舞台下手側への案内誘導

【成果】

- ・少ない人数の中、協力して仕事を行うことができた。
- ・職員の方と連携し、案内業務を無事に終えることができた。



(今後の課題・目標)

【課題】

- ・高齢の方との会話の仕方に課題を感じた。

【目標】

- ・ゆっくりハキハキとしゃべる意識をもちたい。
- ・初対面の人とも協同しいつも通りの対応ができたため、継続して取り組んでいきたい。

岩倉高等学校「IWAKURA SP 2026」



活動の概要

- 連携先
岩倉高等学校
- 活動期間
令和8年2月23日（月）
- 活動場所
岩倉高等学校西東京グラウンド
- イベント参加人数
セパタクロー部15名

(目的)

本事業は、連携校の岩倉高等学校が主催する地域交流イベントへ参画し、競技を通じた地域住民や子どもたちとの交流により、自らの技術を社会に還元する「社会貢献」の機会として参加した。

(活動内容・成果)

- ・セパタクロー部員によるデモンストレーションを披露。
- ・地域の子どもたちを中心に体験会でセパタクローの基本である「リフティング」「アタック」「サーブ」などに取り組み、最後にはゲーム形式でのプレーも体験した。



(今後の課題・目標)

- ・今後も、社会連携活動に積極的に参画し、セパタクローの競技普及とスポーツを通じた社会貢献に尽力してまいります。

令和7年度高大連携校との教育連携の実施

1. 高大連携締結校との実施

【 目的 】

大学と高校の相互教育に係る交流・連携を通じて、高校生の視野を広げ、進路に対する意識や学修意識を高めるとともに、大学の求める学生像及び教育内容の理解を深め、かつ高校教育・大学教育の活性化を図ることを目的に実施した。

【 活動の概要 】

- 連携先（2校）
 - ・岩倉高等学校
 - ・堀越高等学校
- 活動期間
 - ・令和7年4月～令和8年3月
- 活動場所
 - ・岩倉高等学校西東京グラウンド
 - ・堀越高等学校八王子学習センター
- 参加者
 - ・岩倉高等学校スポーツクラス生徒
 - ・堀越高等学校体育コース生徒

【 活動の成果 】

- 【岩倉高等学校】
 - ・本学教員による「総合的な探究の時間」への授業支援（通年）
 - ・オンデマンド配信による「スポーツ科学概論」の受講（通年）
- 【堀越高等学校】
 - ・本学教員派遣型での教育支援の実施（通年、年5回派遣）
 - ・オンデマンド配信による



<岩倉高等学校 講義の様子>



<堀越高等学校 講義の様子>

【 今後の課題・目標 】

今後も連携校との教育連携を一層深化させ、双方が持続的に発展できる連携構築に努めてまいります。

2. その他高大連携校との教育連携の実施

立川女子高等学校「Sプロジェクト」へ参画しました。春学期と秋学期の年2回、模擬授業を通じ、生徒たちが希望する進路を考える機会を提供しました。

東京都市大学との合同仕事体験企画



活動の概要

- 連携先：学校法人五島育英会
- 活動期間：令和7年10月～12月
- 活動場所：東京都市大学
亜細亜大学
- イベント参加人数：38名
- 参加団体：なし

(目的)

- ・一般的にイメージされやすい「大学職員=事務」という側面だけでなく、厳しい社会情勢の中で改革・変化のためにアクティブに仕事を行っているということを大学職員志望の学生に知ってもらうため。
- ・両大学6名の職員が企画運営を行う本プロジェクトの最大の強みを活かし、各部署での実例に基づく業務体験を通じて“前例に囚われず、恐れずに”考えてワークに取り組むことを通じて、大学職員という仕事への理解・興味を深めてもらうため。

(活動内容・成果)

大学間連携協定を結ぶ東京都市大学において実践するアクティブラーニング研修をモデルに両大学の若手事務職員が企画から運営までの研修を行った。

その研修の成果を実践すべく、各キャンパスにおいて「合同仕事体験セミナー」を令和7年12月16日、17日の2日間開催した。参加した38名の大学職員志望の学生に対し、各大学の特徴、職場環境等について説明を行った。



(今後の課題・目標)

後半パートではオリジナル「すごろく」を用いて、自身の所属する部署の実例に基づく業務体験を行った。参加者アンケートでは「働く姿を具体的にイメージできた」等の高評価を得て、当初の目標を達成した。

ビジネスネットワークの集い



活動の概要

● 連携先

亜細亜大学学友会「青々会」本部、青々会東急グループ支部

● 活動期間

2025年8月29日(金)

● 活動場所

渋谷エクセルホテル東急

● イベント参加人数（不明の場合は不要）

80名

● 参加団体

参加企業として約5社

(目的)

卒業生同士の強固なネットワーク構築を支援します。単なる親睦会に留まらず、実利的な「ビジネスチャンスの創出」と、母校への「帰属意識の醸成」を軸として、卒業生組織「青々会」と大学「学生部」とのタイアップで、共に発展し続ける持続可能な構築を目的とします。

(活動内容・成果)

青々会フューチャーズ支部が設立され、支部会員との連携も円滑に進み、昨年度の参加者より多くの方々が出席されました。その為、名刺交換、各社の紹介なども、更に積極的に行われました。本交流の結果の一つとして、令和8年3月25日には、フューチャーズ支部主催の「在学生向けキャリア形成支援」イベントが初開催されます。



(今後の課題・目標)

単発の催しで終わらせず、若手層や起業家も交えた継続的な工夫を重ねることで、実利的な成果が生まれる仕組みを構築し、現役学生と卒業生の繋がりを強化させ、有機的な交流の場への発展を目指します。



【お問い合わせ先】
亞細亞大学 総務部 総務課

〒180-8629
東京都武蔵野市境5丁目8番

TEL : 0422-36-3241
E-mail : somu@asia-u.ac.jp